

歯科衛生士スキルアップセミナー2024

歯周組織再生療法を含む歯周治療成功に向けて

開催方式：ZOOMウェビナーによるWeb開催

参加費：無料

参加方法：事前登録制(裏面のURLまたはQRコードよりお申込みください。)

座長：株式会社 DH Pro. School 代表 山崎 瑞穂 先生



2024年も歯科衛生士スキルアップセミナーを開催することとなりました。

過去2回の90分のセミナーではお話しきれない部分がありましたので、2024年は「歯周組織再生療法における歯科衛生士の役割と成功に導くために押さえておきたいポイント」について各ステージ(①術前、②術中、③術後)に分けて、より具体的に詳細を演者の先生方にお話しいただきたいと思っております。

近年、歯周組織再生療法の認知度が上がり、今まで希望が薄かった歯も温存可能になってきました。

術前の準備から精度の高い歯周基本治療、術中サポート、術後管理まで歯科衛生士は幅広く携わります。

天然歯に勝るものはない！だからこそ良い状態でメンテナンスし、長期保存ができるように、ひいては患者さんの健康寿命の延伸につなげたいと思っております。

最終回では、歯周組織再生療法を行う歯科医師から歯科衛生士に向けてメッセージをいただき、「チーム医療で重要なことは何か？」を皆様で考えたいと思っております。

第1回 2024年4月27日(土) 19:30～21:00

「初診から歯周組織再生療法に至るまで～質の高い歯周基本治療～」

演者：医療法人 塩見会 しおみ歯科クリニック 堀 めぐみ 先生



第2回 2024年6月8日(土) 19:30～21:00

「歯周外科処置における歯科衛生士の役割」

演者：医療法人社団 さくらデンタルクリニック 中村 みさと 先生



第3回 2024年8月24日(土) 19:30～21:00

「細密な術後の管理と対策／メンテナンスの重要性について」

演者：DH Pro. School 谷口 裕子 先生



第4回 2024年10月26日(土) 19:30～21:00

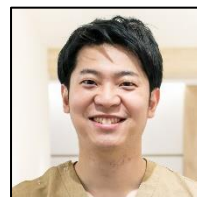
「歯周組織再生療法を行う歯科医師から
歯科衛生士の皆さんに伝えたいこと」

演者：(医)おだデンタルクリニック 理事長 小田 師巳 先生



「歯周組織再生療法の成功のために歯科衛生士に求められる役割」

演者：なりた歯科・矯正歯科 院長 成田 大輔 先生



<問い合わせ先> 科研製薬株式会社 リグロス事務局
e-mail: hiroshima_gakujutu@kaken.co.jp

主催：科研製薬株式会社

参加登録および当日視聴方法

以下に記載のセミナーのURLまたはQRコードより参加登録ページにアクセスしてください。
必要事項を入力いただき、登録ボタンを押してください。登録後、当日参加用のURLがメールにて送付されます。
ご登録いただくメールアドレスは、携帯電話のメールアドレス(docomo.ne.jp、softbank.ne.jp、ezweb.ne.jpなど)の場合、当日参加用のメールを受信できないことがありますので、PC用のメールアドレスをご登録ください。
7日前、前日、当日1時間前にリマインドメールが届きます。
Webセミナー当日は、メールの「ウェビナーに参加」または参加用リンクをクリックして参加をお願いします。

<視聴予約ページ(1回の登録で全4回すべて視聴可能です)>

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_DWA8qd32QjOlzsutR_x7yQ



ご記入/ご入力いただいた個人情報は、「科研製薬の個人情報保護に関する取組み (<https://www.kaken.co.jp/privacy/>)」に従い、取り扱います。内容をご確認いただき、同意のうえ、ご登録ください。

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂に十分ご注意ください。

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

4. 効能又は効果

歯周炎による歯槽骨の欠損

5. 効能又は効果に関連する注意

- 5.1 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
- 5.2 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。
- 5.3 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

6. 用法及び用量

歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

7. 用法及び用量に関連する注意

本剤の使用にあたっては「17.臨床成績」の項を参照し適切な量を用いること。[17.1.2 参照]

8. 重要な基本的注意

本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹、硬結、肥厚
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中NAG上昇、尿中 β_2 ミクログロブリン上昇	AST上昇、CRP上昇、ビリルビン上昇、CK上昇、ALT上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、総蛋白上昇	単球増多、白血球減少

21. 承認条件

医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

2023年10月改訂(第1版)



歯周組織再生剤
トラフェルミン(遺伝子組換え)製剤

リグロス 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g
REGROTH[®]Dental Kit 600 μ g/1200 μ g

薬価基準収載

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

製造販売元
[文献請求先及び
問い合わせ先]



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室